

令和5年度～令和7年度出品点数内訳表

部門	年度	総出品点数	審査対象				審査対象外		市長賞	市議会 議長賞	教育委 員会賞	岡田文 化財 団賞	文化 協会賞	CTY賞	奨励賞	最終		
			一般 応募	一年 無鑑査	審査員 運営委員 顧問 元審査員	無鑑査	入賞数 合計	入選								選外		
日本画	5	28	12	0	8	8	1	1	1	1	1	1	1	1	7	5	0	
	6	22	14	0	3	5	1	1	1	1	1	1	0	2	7	7	0	
	7	27	16	0	4	7	1	1	1	1	1	1	0	2	7	9	0	
洋画	5	84	62	1	8	13	1	1	1	1	1	1	3	6	14	49	0	
	6	69	57	1	6	5	1	1	1	1	1	1	3	6	14	44	0	
	7	87	70	1	10	6	1	1	1	1	1	1	3	7	15	56	0	
彫刻	5	19	6	0	9	4	1	1	1	1	1	1	0	1	6	0	0	
	6	16	7	1	8	0	1	1	1	1	1	1	0	1	6	2	0	
	7	18	10	1	6	1	1	1	1	1	1	1	0	1	6	5	0	
工芸	5	48	36	0	8	4	1	1	1	1	1	1	1	4	10	26	0	
	6	45	37	0	5	3	1	1	1	1	1	1	2	4	11	26	0	
	7	46	37	1	6	2	1	1	1	1	1	1	2	4	11	27	0	
書道	5	116	93	1	14	8	1	1	1	1	1	1	4	10	19	75	0	
	6	107	87	0	14	6	1	0	1	1	1	1	4	9	17	70	0	
	7	107	84	1	10	12	1	1	1	1	1	1	4	9	18	67	0	
写真	5	97	84	0	11	2	1	1	1	1	1	1	3	8	16	68	0	
	6	83	71	1	9	2	1	1	1	1	1	1	3	8	16	56	0	
	7	74	62	1	9	2	1	1	1	1	1	1	3	7	15	45	3	
総計	5	392	293	2	58	39	6	6	6	6	6	6	12	30	72	223	0	
	6	342	273	3	45	21	6	5	6	6	6	6	12	30	71	205	0	
	7	359	279	5	45	30	6	6	6	6	6	6	12	30	72	209	3	

写真部門高校生表彰枠

5	10
6	13
7	1

5年度は金賞、銀賞、銅賞各1点受賞

6年度は金賞、銀賞、銅賞各1点受賞

7年度は銀賞1点受賞

【日本画部門】

市長賞	千夜の夢より	相原 里佳子
市議会議長賞	またね	湯之谷 海優
教育委員会賞	百合	渡邊 博
岡田文化財団賞	伊坂ダムの眺望	宇佐見 啓市
四日市市文化協会賞	風水のある港	伊藤 慶三
奨励賞	クラブハウスを望む上りホール	西脇 善清
奨励賞	往生極楽院と静寂	野口 勝

【洋画部門】

市長賞	お米	久我 清美
市議会議長賞	木曾岬の桜	水谷 幸子
教育委員会賞	仲間たち	中山 裕美子
岡田文化財団賞	旅の追想 フィレンツェ「ドウオーモ」	植村 朝子
四日市市文化協会賞	夏祭りの日	伊藤 正美
シー・ティー・ワイ賞	ゆく手	渡部 佐恵子
シー・ティー・ワイ賞	或る日	大市 道代
シー・ティー・ワイ賞	出会いと関係	伊藤 茉代
奨励賞	Living in history (ヴェネツィア)	天野 久美子
奨励賞	根っこにフルーツで語る乙女	中尾 隆博
奨励賞	市民壇	imani
奨励賞	水の都 ヴェネツィア	阿部 逸夫
奨励賞	ハラメント	栗山 育久
奨励賞	穏やかな磯津の海岸	水谷 紀昭
奨励賞	山の絵	佐野 洋平
クスノキ賞	Four Friend Girl	宮代 はな

【彫刻部門】

市長賞	黒い森	森 健
市議会議長賞 クスノキ賞	泡沫	寺田 優芽
教育委員会賞	古代の豎琴	丹羽 則夫
岡田文化財団賞	花神	齊藤 朋子
四日市市文化協会賞	神仏面面	成瀬 晴敏
奨励賞	警戒心	赤繁 容子

【工芸部門】

市長賞	赤絵ふたもの	加藤 直美
市議会議長賞	杣	渡邊 誠吾
教育委員会賞	闇夜に咲く華	森 千明
岡田文化財団賞	輝き	高橋 可奈子
四日市市文化協会賞	アミーバ・80	加藤 信子
シー・ティー・ワイ賞	月暈	中野 綾子
シー・ティー・ワイ賞	根上りの盆栽	岡本 俊夫
奨励賞	黄伊羅保窯作品群 (7点)	袴田 政廣
奨励賞	あきつ	太田 祥子

奨励賞	円窓の華	塩田 ツヤ子
奨励賞	内包する宇宙	塩海 忍り子
クスノキ賞	残響	大井 扶美

【書道部門】

市長賞	朝顔	飯田 真帆
市議会議長賞	杜甫詩	廣野 陽風
教育委員会賞	けふはまた	水谷 かおり
岡田文化財団賞	たのしいひな祭り	内田 洋子
四日市市文化協会賞	王鐸臨	渡邊 春燕
シー・ティー・ワイ賞	白樂天二首	小山 美笙
シー・ティー・ワイ賞	聖書詩編	渥美 健
シー・ティー・ワイ賞	沈佺期の詩	柿葉 紫水
シー・ティー・ワイ賞	臨 吳昌碩 尺牘	井上 亜耶
奨励賞	倪瓚詩「林間鶴帯雲還」	伊藤 谿石
奨励賞	陸游詩	野々村 紫芳
奨励賞	劉禹錫の詩	辻 翠松
奨励賞	山桜	位田 弥生
奨励賞	花	河合 裕子
奨励賞	曾同季詩一節	天野 獅龕
奨励賞	杜甫の詩	富永 山溪
奨励賞	曲江對酒	鈴木 游月
奨励賞	臨 吳昌碩 行書	内田 咲子
クスノキ賞	沈佺期詩	南川 あかり

【写真部門】

市長賞	朝光の伏兵	小林 努
市議会議長賞	海からの叫び	大藪 良一
教育委員会賞	仲間たち	大杉 博昭
岡田文化財団賞	蒲生の棚田	黒田 芙美江
四日市市文化協会賞	攻防	赤塚 正行
シー・ティー・ワイ賞	べらぼうめ～車夫の意地	伊藤 伸
シー・ティー・ワイ賞	年輪	長澤 博
シー・ティー・ワイ賞	寒雀	鈴木 宝王
奨励賞	家族愛	野副 紳一郎
奨励賞	誘われて	水谷 幸子
奨励賞	朝陽に輝く	木本 敦
奨励賞	ひとやすみ	田中 笑佳
奨励賞	やまのコンサート	木村 守
奨励賞	祭礼を終えて	増木 和典
奨励賞	彩雲孔雀	谷口 志野

【高校生写真部門】

銀賞	愛の神託	桜パン
----	------	-----

※ クスノキ賞とは、今後一層の活躍が期待される若者の優れた作品に対して贈る賞として令和4年度に創設したものです。部門によって対象年齢を定め、市長賞等の選考後に別途選定し、市長賞等との重複受賞もあります。

第52回四日市市美術展覧会 審査講評

【日本画】

日本画部門では、応募作品16点中半数の8作品が水墨画作品でした。30号程度の大きい作品も多くあり、見応えのある力作が揃いました。市長賞の「千夜の夢より」は、楽曲の題目を作品タイトルにした作品で、人物や管楽器、楽譜、ソファに至るまでとても丹念な描き込みが魅力のある充実した作品です。全体を覆う赤茶系の色彩も美しく深みがあり、作者の対象への愛情が強く伝わる素晴らしい作品です。

市議会議長賞の「またね」は、襖から覗く子供の姿を縦長の画面を用いて大胆に構成した意欲作です。揉み紙のような独特の表現にも作者の工夫が感じられ好印象です。

教育委員会賞の「百合」は、鮮やかな花々とそれを支える深みのある色彩がとても印象的です。背景に施されたマチュールも不思議な魅力を感じます。

岡田文化財団賞の「伊坂ダムの眺望」は、ダムから広がる山々の雄大さを感じさせる、スケールの大きな秀作です。

いずれの応募作品もしっかりと時間を費やして真摯に取り組んだことが窺える力作が多いので、もう一步大きなサイズの画面に挑戦したり、構図を大きく大胆に狙うなど、作品がおおらかに見える工夫があると更に良くなると思います。

【洋画】

本年度の洋画部門は一般応募の点数、力作が増え、審査する側も心地良い緊張感に包まれました。

市長賞は「時代性」を強く出したアイデア、大胆な構図で多くの人々から「共感」を得る「現代絵画」となっています。

市議会議長賞は「さくら」の色合いがとても落ち着いて、その場の「風」が感じられる一枚となっています。

教育委員会賞は見る人に「活力」を与える元気な絵となっています。色面構成の大胆さに対して色々な画材を使い、細かく描き込まれた、人々の表情に作者の日常が反映されています。

今後も引き続き多くの力作を期待しています。

【彫刻】

今回の出点数は昨年より3点増加したものの、依然として全体の1割にも満たない状況にある。また、若い方の出品も少なく、こうしたこともあって、賞選考は難航した。

市長賞は、新しい素材を用いて、独自の世界を表現しており、細かな部分の見せ方にやや荒さがあるものの、全体に良くまとまった迫力ある作品である。

市議会議長賞は、二種類の陶土による小品を組み合わせる意欲作で、釉薬も効果的に使われている。

教育委員会賞は、木という素材が持つ原初的な力強さが感じられる力のこもった作品である。

全体的に、素材や着眼点、そして技法に作者の様々な想いや工夫が凝らされた作品が多く、困難な選考作業ではあったが、中身の濃い作業であった。

彫刻部門の活性化は、四日市市美術展の課題の一つではあるが、多様性のある作品が出品されている現状が、今後少しずつでも発展していくことを期待してやまない。

【工芸】

今回は、全体としてややコンパクトな作品が多い印象を受けましたが、一点一点を丁寧に観ていくと、それぞれに込められた思いや創意が伝わってきました。いずれの作品も、作者が真摯な姿勢で楽しみながら制作に取り組んでいる様子が感じられ、心を打たれました。

市長賞「赤絵ふたもの」

和を感じさせる文様が、赤絵で非常に丹念な筆使いによって描かれており、作者の筆を運ぶ際の息づかいまで想像させるような、緊張感のある秀作です。審査員全員の一致により、市長賞に選出されました。

市議会議長賞「杣（そま）」

銀箔の上に型紙の伝統技法を施し、丁寧な仕事ぶりが際立っています。仕上がりは非常にモダンで、伝統と現代性を高い技術で融合させた点が高く評価されました。

教育委員会賞「闇夜に咲く華」

金属の冷たく硬質な質感と、植物の柔らかく自由な曲線が見事に融合しています。直線と曲線といった、相対する要素を巧みに組み合わせ、感性の高さが光る作品となっています。

岡田文化財団賞「輝き」

素材の美しさを最大限に引き出し、全体をモノトーンで構成することで、主題である水滴のきらめきをいっそう際立たせています。シンプルながら印象深い、美しい作品です。

【書道】

多くの作品が出品され、四日市市民の書に対する熱意を強く感じた。漢字、仮名、調和体、そして篆刻とバラエティーに富んでいて、書の表現の多様さに感動した。ただし、あまり自由さを求めると、私だけの書、つまり我流になってしまうので留意していただきたい。

市長賞は、仮名をベースにした調和体で確かな字姿と構成が素晴らしく圧巻の作品。ほぼ単体の書き方であるにもかかわらず書き出しからの流れがよく、更に「行雲や」の切り返しが効果的であった。

市議会議長賞は、おそらく呉昌碩の古典を基盤とし、その技法と書風を上手く自分流に昇華させた作品で、今後もこれを自分の個性として伸ばして欲しい。

教育委員会賞は、関戸本古今集を彷彿とさせ、構成においても中程少し前に山場をつくり自然に終わりへと継げており、とても良い作品となった。

【写真】

今回の審査会では、若干の応募数の減少はあったものの撮影者の熱意を感じさせる作品が多く見られました。ジャンルも風景、スナップ、ネイチャー、カラー、モノクロとバリエーション豊かな応募作品には、審査員の私たちも楽しませて頂きました。市長賞の「朝光の伏兵」は、撮影者を警戒する鹿を真正面から捉え、早朝の斜光線の光が印象的であり、市議会議長賞の「海からの叫び」は、透明感あふれる造形的な作品、教育委員会賞の「仲間たち」は、並んで座っている女の子達と撮影者の声が聞こえてきそうな作品です。

高校生部門は1点の応募しかありませんでしたが、来年も頑張ってもらいたい思いも込めて銀賞とさせて頂きました。

デジタルカメラやスマホの普及で一億総カメラマン時代となった現代でも、撮りっぱなしではなく、「プリントする」「額に入れる」「壁に飾る」という写真の楽しみ方を知って頂ければと思います。

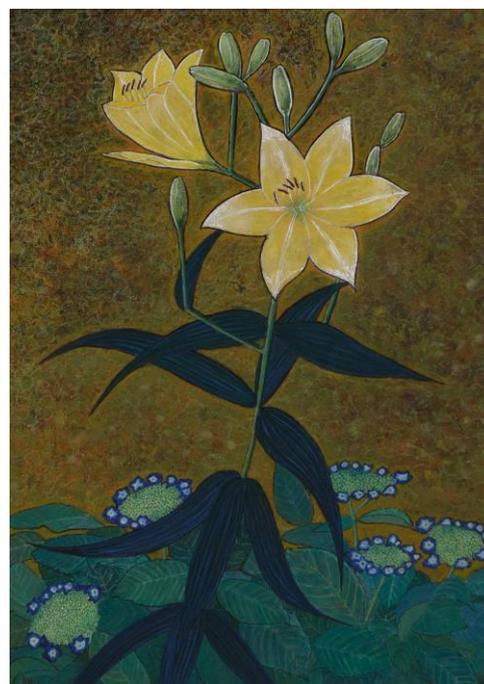
第 52 回四日市市美術展覧会【日本画】



市長賞 「千夜の夢より」 相原 里佳子

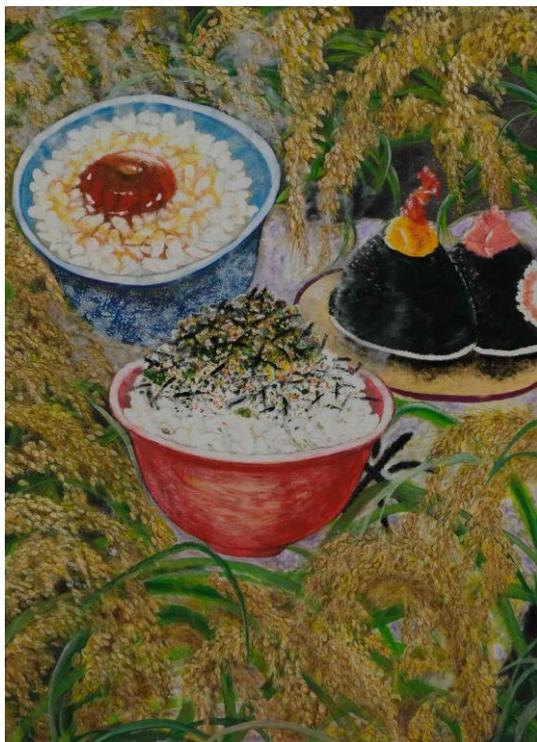


市議会議長賞
「またね」
湯之谷 海優



教育委員会賞
「百合」
渡邊 博

第 52 回四日市市美術展覧会 【洋画】



市長賞 「お米」 久我 清美



市議会議長賞
「木曾岬の桜」
水谷 幸子



教育委員会賞
「仲間たち」
中山 裕美子

第 52 回四日市市美術展覧会【彫刻】



市長賞
「黒い森」
森 健



市議会議長賞
「泡沫」
寺田 優芽

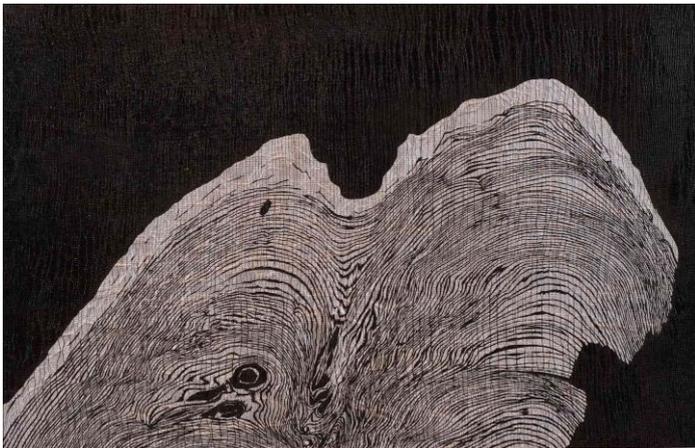


教育委員会賞
「古代の堅琴」
丹羽 則夫

第 52 回四日市市美術展覧会【工芸】



市長賞
「赤絵ふたもの」
加藤 直美

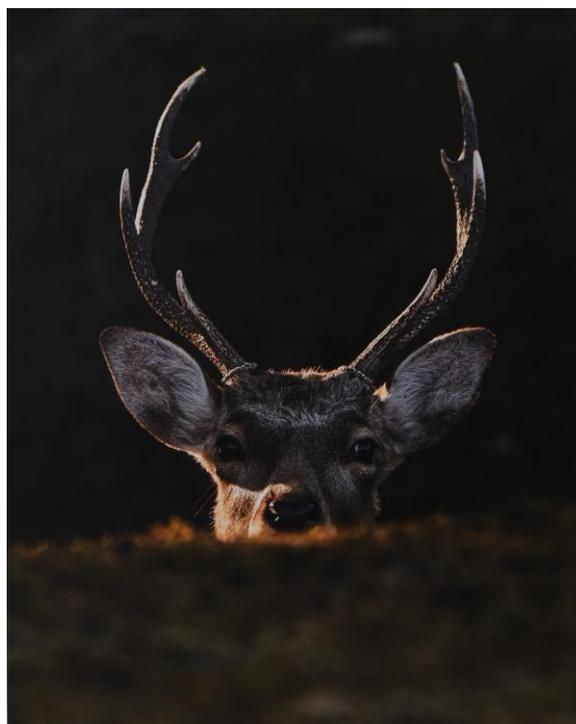


市議会議長賞
「杣」
渡邊 誠吾



教育委員会賞
「闇夜に咲く華」
森 千明

第 52 回四日市市美術展覧会【写真】



市長賞
「朝光の伏兵」
小林 努



市議会議長賞
「海からの叫び」
大藪 良一



教育委員会賞
「仲間たち」
大杉 博昭